

最終更新日： 2026年3月5日

授業科目名 (講義題目)	ベンチャー企業			開講学期	春学期
				曜日時限	金曜 I・II限
				単位数	2
担当教員名	五十嵐 伸吾	講義コード	科目区分	対象学生	
		26176013	選択	1年生/2年生	
開講予定日	①②4/10 ③④4/17 ⑤⑥4/24 ⑦⑧5/1 ⑨⑩5/15 ⑪⑫5/22 ⑬⑭5/29 ⑮6/5				
履修条件	条件とはしないが、「企業財務」、「組織論」、「戦略論」、「イノベーション・マネジメント」、「M&A」等科目を学習することでより学習内容が深まる	キーワード	アントレプレナーシップ、リーン・スタートアップ、新規事業、コーポレート・ベンチャーリング、ベンチャー投資		
全体の教育目標	アントレプレナーシップ概論の位置づけ。スタートアップに関する全体像を理解し、どのようなフェーズでどのような課題が生じるかを理解する。リーンスタートアップ、エフェクチュエーションなどを理解する	個別の学習目標	起業機会の認知。アイディエーション、MVP制作から資金調達、組織化など全般プロセスの理解。ケースによる疑似体験		

授業の概要	近年のアントレプレナーシップ研究では「起業プロセス」への関心が高まり、中でもプロセスの発端となる「起業機会」の発見（あるいは創造、認知）とその機会をどのような形でビジネスに翻訳するかが注目を集めている。マーケット・プル（市場主導型）とテクノロジー・プッシュ（技術主導型）の事業創造が存在するが、テクノロジー・プッシュは対象とする市場を選択やその市場を形成するプロセスに体力を要するが一方で、事業の知的財産権（例えば特許）などを駆使することで、競争優位を確立することは容易である。近年、MBAホルダーには、アイデア（知的財産化前の発見や発明）をどのようなビジネスとして翻訳し商用化していくのかのニュービジネスクリエーション（新事業創造）のスキルが強く求められている。本授業ではテキストとケーススタディーでこれを学ぶ				
授業の最新情報 案内方法	・九州大学Moodle				
授業形態	・講義・演習 ・グループワーク ・ディスカッション	使用する 教材等	・スライド資料（電子媒体） ・映像・音声資料 ・その他（ケース教材など）		

授業の進め方	1. 講義は学生同士の議論に重点をおくため2コマ連続で開講する。 2. 講義の議論の密度を高めるために、事前課題の提出を毎回求める。 3. 講義は座学、ケーススタディー議論の形で進める。ケーススタディーは、グループワークを中心とする。
教科書及び参考図書	◎キャスリーン・アレン『科学者が「起業」で成功する方法』日経BP社、2009（1,762円+税） ※但し、テキストは絶版のため適宜準備する ○エリック・リース『リーン・スタートアップ』、日経BP社、2012（1,980円+税） ○アレックス・オスターワルダー他『ビジネスモデル・ジェネレーション～ビジネスモデル設計書』、翔泳社、2012（2,677円+税） ○アレックス・オスターワルダー他『バリュー・プロポジション・デザイン～顧客が欲しがる製品やサービスを創る』翔泳社、2015（3,080円+税） ●稲穂 健市『楽しく学べる「知財」入門』講談社（現代新書 2412）、2017年（1,210円+税）
試験・成績評価の方法等	事前課題 30% …毎回開講前に事前レポート（2枚程度）の提出を求め、評価に加える。 講義への貢献 30% …講義中での発言を発言内容も勘案し評価に加える。 最終レポート40% …最終レポートを試験に代替する。